

**博報堂D Yグループ、「TV Cross Simulator」に LINE の動画広告メニューの機能追加
—TVCM×オンライン動画広告のより効果的なメディアプランニングが可能に—**



株式会社博報堂D Yメディアパートナーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：矢嶋弘毅）、株式会社博報堂D Yデジタル（本社：東京都港区、代表取締役社長：辻輝）、株式会社博報堂D Yホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：戸田裕一）は、この度、TVCM とオンラインの動画広告をかけた合わせた広告効果予測プランニングツール「TV Cross Simulator」の機能アップデートとして、LINE アプリ上の動画広告メニュー「LINE Expand AD」※への対応を開始しました。

2018年、生活者のメディア総接触時間のうちデジタルメディアが占める割合は50.4%となり、初めて過半数に達しました（出典：『メディア定点調査 2018』博報堂D Yメディアパートナーズ メディア環境研究所）。このようなデジタルメディアの進展が続く中で、企業のマーケティング活動におけるデジタル広告の需要はますます高まっており、特にオンライン動画広告によるターゲットリーチ獲得・商品認知向上などのブランディング効果に大きな期待が寄せられています。

「TV Cross Simulator」はTVCMの出稿パターンやターゲット（性別や年齢など）、業種といった10種類以上のパラメーターを設定することで、キャンペーンの「ターゲットリーチ効率」や「広告認知率」等を最適化するためのTVCMとオンライン動画広告それぞれの出稿パターンをシミュレーションすることが可能です。2015年の開発・提供開始以来、さまざまなデジタルメディアの動画広告に対応するなどして、その機能をアップデートさせてきました。

今回の機能アップデートでは、主要なコミュニケーションプラットフォームであり、かつ幅広い層へのリーチが可能な動画広告を提供するLINEにも対応することで、広告主企業の要望により一層応えられるものへと進化させています。TVCMとLINE Expand ADのクロスメディアプランニングが可能になったことで、ターゲットリーチ獲得や商品認知向上等のブランディング指標において、より効果的な広告の出稿提案ができるようになりました。なお本ツールは、博報堂D YグループによるTVCMの運用実績と、今回新たにLINEと共に行ったクロスメディアキャンペーンのWEB調査結果をベースに構築しています。

今後も博報堂D Yグループは、「TV Cross Simulator」の機能アップデートなどを通じてTVCM×オンライン動画広告のより効果的な広告出稿を提案していくとともに、長年培ってきたTVCMに関する広告枠の運用と、最先端のオンライン動画広告を組み合わせ、広告投資効果をさらに最大化するソリューションを提供してまいります。

※ LINE Expand AD

LINE アプリ上の金融サービスの玄関口となる「LINE ウォレット」タブ内に表示される動画広告メニュー。ユーザーアクションをトリガーとして動画が再生されるため、広告体験が印象に残りやすいフォーマットとなっています。

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社博報堂D Yメディアパートナーズ／株式会社博報堂D Yホールディングス

広報室／広報・IR 室 江渡 TEL : 03-6441-9347

株式会社博報堂D Yデジタル

経営企画ディビジョン 広報担当 三石・大石 TEL : 03-6441-7888